

## 維新政治塾開講式

平成 24 年 3 月 24 日

於：大阪国際会館

文責：晴佐久浩司

### ○概要

維新政治塾の目的は言うまでもなく、国政選挙に向けた政治家を養成することにあるが、それ以上に重要なこととして維新の会所属の議員も含めて参加者全員が、理想的な社会の創造に向けて一つの理念を共有することにある。それぞれの立場で異なる視点からの議論を徹底的に行い、理想論ではなく実際に実現可能な解決手法を導き出すことが求められる。

#### 1. 国歌斉唱（全員）

参加者全員起立して国歌斉唱。

#### 2. 開会あいさつ（浅田 均）

大阪維新の会は2年前に都構想を掲げて設立された地域政党である。地域政党であることから国から一切の政党助成金はもらっていない。今回の政治塾も府議・市議（大阪市・堺市）が事務局を担当しており、会場の準備などもすべてお手前である。

もともと大阪は、良い意味でも悪い意味でも先進地であり、大阪万博以降右肩下がりの経済に甘んじている。全国の地方都市は程度の差はあれど似たような財政事情であり、まったなしの変革が求められている。

大阪維新の会の理念や構想は HP に掲載されているとおりであり、まずは統治機構の抜本的改革に向けて、賛同者の輪を広げていきたい。すべては地域の自立から始まり、地域が国を支える構造にしていかなければならない。

#### 3. 塾長あいさつ（橋本 徹：大阪市長）

##### 【国歌斉唱】

昨日 23 日に、教育行政基本条例・府立学校条例が成立した。国歌斉唱に従わない教職員の指導・懲罰は教育委員会に任せている。肝心なことは、「君が代」は国歌であると法律で定められており、国の将来を担う子供を教えるという立場の教職員（行政も含む）が規律を守れないのはおかしい。正しい歌い方は、直立で気をつけし、決してマスクなども着用しないこと。今後海外に活躍の場を求めざるを得ない日本人が、国歌をきちんと歌えないということは恥ずかしいことであり、相手国の国歌を聴く姿勢にもあらわれてくる。

##### 【メッセージ】

維新政治塾として受講生で価値観を共有していきたいと考えているが、『自立する個人、自立する地域、自立する国家』という理念だけは大阪維新の会として守ってほしい。政治家は有権者の支持を得るため、選挙で助け合い・支え合い・分ち合いと耳触りの良い言葉を頻繁に発言している。しかし、人を助けるためにはまずは自分が自立していないと駄目で、社会においても経済的に自立してこそ支え合って弱者を救済することができる。これ

まで、教育の世界では平等教育による没個性化、政治・行政の世界では国と地域の責任の押し付け合い・馴れ合いが蔓延ってきた。悪しき相互依存を断ち切るためには、地域が物事の責任を持って決定し、そのための努力を惜しまず、地域が自立することが必要である。

#### 【維新政治塾の目標】

政策を実現するための**仕組み**づくりを実施することが目的である。現在の統治機構においても政策や運用している人材が悪いわけではない。コンピューターで例えると、ソフトウェアやエンジニアが幾ら立派であろうとも、ハードウェアそのものが陳腐化したら非効率なシステムにならざるを得ない。まさに今、社会システムそのものの**変革**が必要となっている。

政治とは実行力であり、細かな政策論議をする場ではない。政治家は大まかな方針のみを示し、行政に政策を複数立案させ、最適解を修正して最終決定することが求められる。そして、政治家が政策を選択するためには、ぶれない価値観が醸成されていなければならない。そのために、維新政治塾では根幹となる価値観の共有を図りたいと考えている。

成熟した民主主義社会においては、賛成多数で物事が決定することはあり得ず、議会で徹底した議論をつくしても解決できない課題が山積している。これら課題を解決する道は政治決断しかなく、裏付けとして選挙で審判をあおぐことが今時点で最良な手法であろう。

### 3. 副塾長あいさつ（松井 一郎：大阪府知事）

政治家の覚悟が問われている。大阪府では、府議会議員の人数2割削減、報償費3割減の法案が可決されている。社会変革を実行するのであれば、まず第一に政治家が自ら身を切ることが肝要である。次回の選挙を考えると有権者に配慮する姿勢となり物事は進まなくなる恐れがある。そのため、大阪維新の会では1期4年間で勝負したいと考えている。

統治機構改革の第一歩となる大阪都構想の実現に向けて、既に民主党・自民党・みんなの党では議員立法の準備しており次期国会で審議される予定である。しかしながら、政治情勢は不安定であり他人任せではいけないので、国政選挙に打って出る準備もあわせてしておく必要がある。維新政治塾では遠慮なく意見を言ってもらい、理念や方向性を一緒に議論していきたいと考えている。ご縁に感謝。

### 4. 閉会あいさつ（坂井 良和）

維新政治塾には、山形県を除く46都道府県が幅広く参加している。国政選挙に出る場合には全国にも周知していかねばならず、皆さん方のお力添えがとても心強いと感じている。6月迄はあくまでも塾生ではなく候補生であり、今日を含めた5回の講演で半数以上絞り込みをさせていただく。それまでの間、塾生を目指して精一杯がんばってほしい。

以上